

施策の評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	17	交流人口の拡大	管理コード 061748
		施策	48	観光の振興	本冊ページ 104
	関連個別計画	津市過疎地域持続的発展計画			
担当部局		政策財務部、商工観光部、都市計画部、ポートルース事業部			
施策の内容(番号)		151 ~ 153			

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価		担当課
		選択区分	今後の方向性 選択区分	
151	歴史・文化、自然、温泉などの資源を有機的につないだ観光コースや体験型観光など、多彩な資源の活用と新たな魅力の創出を図るとともに、関連団体や民間事業者が持つ強みを活かして、「ひともの」両面からおもてなし環境の充実に努めます。	A	③	観光振興課 /地域振興課(美杉)
152	マスメディアやSNSなど、時代に即した情報発信を通じて、本市を代表するイベントへの集客、インバウンド観光やMICE誘致など、国内外からの誘客を促進し、交流人口拡大に向けた取組を進めます。	A	①	観光振興課 /経営管理課
153	三重県や周辺市町との広域的な取組をはじめ、関係団体や民間事業者との観光分野における連携の強化に取り組みます。	A	③	観光振興課 /地域振興課(久居、安濃、一志、白山)

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価			
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)
	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A	津駅前観光案内所における観光資源を紹介するイベント(企画展)を実施したほか、観光ボランティアガイド団体が連携するネットワーク活動に対する補助を実施し、ガイド案内人数は令和5年度を上回る実績となりました。また、津花火大会や津まつり等のイベント開催に対する補助を行ったほか、名松線を観光資源とした沿線地域の魅力づくり事業・魅力発信事業、ポートルース津へのグレードレースの誘致、津市観光協会のホームページリニューアルによる利用者の利便性向上などによって、観光の振興に向けた取組が進みました。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C	C	A	A	A			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	17	交流人口の拡大	管理コード	061748151
		施策	48	観光の振興	本冊ページ	104
	関連個別計画	津市過疎地域持続的発展計画(令和3年度～令和8年度)				
担当部局		商工観光部、都市計画部				
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		151	歴史・文化、自然、温泉などの資源を有機的につないだ観光コースや体験型観光など、多彩な資源の活用と新たな魅力の創出を図るとともに、関連団体や民間事業者が持つ強みを活かして、「ひと・もの」両面からおもてなし環境の充実に努めます。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	実施評価 事業評価	
	担当課		何		決算額 (千円)	今後の方向性	
151-1	観光ボランティアガイドネットワーク活動支援事業	観光ボランティアガイド団体が相互に連携するネットワーク活動に対する補助	効	各ガイド団体間の連携強化、ガイド技術の向上を図る	◆ 補助1件	◎	ガイド案内人数28,539人は昨年の26,755人を上回った。ガイド募集を行い新たな人材を確保、育成することで、今後も継続的に質の高いガイド(案内)の提供を目指す。また、ガイド団体間の連携等を継続し、おもてなし意識の向上、ガイド能力の底上げに向けた取組を継続する。
			誰	各ガイド	◇ ガイド案内人数	◎	
	観光振興課	何	ガイド技術及びおもてなしの向上を図ることにつながる	3,472 (千円)	現状維持		
151-2	津駅前観光案内所運営事業	津駅前観光案内所運営業務の委託	効	市内の観光地等の情報を容易に得ることができる	◆ 季節ごとに観光資源を重点的に紹介するイベントの実施	◎	案内者数10,729人となった。電話及び窓口での案内のほか、観光資源を紹介するイベント(企画展)を実施し、来場者に来訪のきっかけを与えた。効率的な運用を図るため、令和7年に案内所を観光協会の事務所内に移設するが、今後も一人でも多くの来津者へ観光地の魅力を伝える。
			誰	観光客(市内外の人々)	◇ 案内者数(電話含む)	◎	
	観光振興課	何	市内の観光地等を訪れるきっかけづくり	10,142 (千円)	見直し		
151-3	名松線活用関係事業	名松線沿線地域の魅力づくり事業及び魅力発信事業の実施	効	名松線を観光資源として地域団体の活動、地域の活性化が促進される	◆ 補助4件	△	名松線沿線地域の魅力づくり事業補助金については、2団体が申請し、名松線の利活用を促進する取組に対し支援を行った。令和6年度は利用促進のためのイベントに228人が参加した。また、補助を受けた団体において、沿線の魅力を伝えるための写真集を製作・配布がなされたことから、名松線の知名度向上に寄与した。今後も引き続き支援を続けることで、観光客誘致を図る。
			誰	観光客	◇ 補助対象事業において名松線を利用した人数	○	
	地域振興課(美杉)	何	沿線地域に興味を持ち交流・関係事項が増える	371 (千円)	現状維持		

施策の内容評価シート(令和6年度分)

151-4	伊勢本街道を活かした地域づくり事業	伊勢本街道を活かした地域づくり協議会による伊勢本街道を中心とした景観・環境整備と、ガイド事業、周知事業	効	地域住民による協議会が伊勢本街道の歴史資産の保存活用、PRを行い、地域振興・交流人口に資する	◆	街道整備、イベント、広報・PR事業、研修事業の実施	◎	現在の委託事業のうち、委託内容を精査し、業務を継続していく。
	誰		一般市民、協議会会員	◇	ガイド活動147名、街道整備3回、PR事業5件 研修事業7件	◎		
	地域振興課(美杉)		何	伊勢本街道におけるイベントの開催、協議会のスキルアップ研修、街道整備、周知活動を行う	1,300 (千円)	見直し		
151-5	森林セラピー基地事業	森林セラピー基地の整備及びPR事業	効	交流人口の拡大及び地域住民の健康増進に資する	◆	セラピーロードの補修整備及び森林セラピーイベントへの支援の実施	◎	森林セラピーロードの補修整備及び森林セラピーイベントを実施する津市森林セラピー基地運営協議会の活動支援により交流人口(利用者数)の拡大を図ることができたため実施評価及び事業評価はそれぞれ「◎」とした。(利用者数:702人) 今後も森林セラピー基地の整備及びPRを図り、より効果的な事業となるよう取り組んでいく。
	誰		市内外の人々	◇	美杉地域の森林資源による交流人口の拡大	◎		
	地域振興課(美杉)		何	美杉地域の森林資源を有効に活用し、地域振興と活性化を図る	8,204 (千円)	現状維持		
151-6			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さなら)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	③
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C	B	B	A	A			
今後の方向性	①	①	①	①	①	①	③			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	17	交流人口の拡大	管理コード	061748152
		施策	48	観光の振興	本冊ページ	104
		関連個別計画				
担当部局		政策財務部、商工観光部、ボートレース事業部				
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		152	マスメディアやSNSなど、時代に即した情報発信を通じて、本市を代表するイベントへの集客、インバウンド観光やMICE誘致など、国内外からの誘客を促進し、交流人口拡大に向けた取組を進めます。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	実施評価 事業評価	
	担当課		何		決算額 (千円)	今後の方向性	
152-1	広報宣伝事業	観光誘客PRキャンペーン事業及び新聞雑誌広告等情報発信業務の委託	効	市内外の人々がイベントでのPRブースや津市観光協会のHP、新聞雑誌等を介して観光情報を得ることができる	◆ 観光PRの実施回数50回以上ほか	◎	市内外でのPRブース出展を52回実施。また、新聞、テレビ、雑誌、Webメディアへの広告掲載を13回、取材協力、情報提供を53回実施。若年層を中心にSNSで情報収集する傾向が顕著であることから、Web上への発信についてもSNS等を活用し実施していく。facebookフォロワー数3,178人(R7.6.19時点)
	誰		市内外の人々	◇ facebookフォロワー数	◎		
担当課	観光振興課	何	市内の観光イベントや観光地等へ足を運ぶきっかけづくり	13,640 (千円)	現状維持		
152-2	観光誘客・情報発信事業	観光誘客・情報発信事業に対する補助	効	津市観光協会が、補助金を活用し、花見客への対応や情報発信を行うためのHPの維持管理を行う	◆ 補助1件	◎	観光地に関する基本的(開館日、開館時間、場所、アクセスなど)情報の発信を行うことに加えその情報に係る取材や電話対応などを行っている。HPをリニューアルし、利便性が向上したことから閲覧数の上昇が見込まれる。HPの閲覧数1,712,163ページ
	誰		津市観光協会	◇ HPの閲覧数	◎		
担当課	観光振興課	何	誘客活動、おもてなし活動等がしやすい	14,699 (千円)	現状維持		
152-3	モーターボート競走事業	レース場への来場促進や売上向上を目的としてグレードレースの誘致を行う	効	観光施設として、全国から観光客を誘致することができ、交流人口拡大を促すことができる	◆ 入場者数:280,000	△	入場者数は190,789人と目標に達することはできなかったが、売上については過去最高額(65,704,270円)を記録することができた。本場入場者数は減少傾向にあるため、12年ぶりのSG開催となるSGボートレースダービー等のグレードレースや、イベント等の実施をきっかけに、本場への来場を促していく。
	誰		ボートレースファン及び津市民	◇ ボートレース津の1年間の売上	◎		
担当課	経営管理課	何	交流人口拡大を促すだけでなく、津市財源を確保することができる	65,704,270 (千円)	拡充・充実		

施策の内容評価シート(令和6年度分)

152-4	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
152-5	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
152-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
152-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	B	B	B	A			
今後の方向性	①	①	①	②	①	②	①			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	17	交流人口の拡大	管理コード	061748153
		施策	48	観光の振興	本冊ページ	104
	関連個別計画					
担当部局		商工観光部				
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		153	三重県や周辺市町との広域的な取組をはじめ、関係団体や民間事業者との観光分野における連携の強化に取り組みます。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	実施評価 事業評価	
	担当課		何		決算額 (千円)	今後の方向性	
153-1	津花火大会補助事業	津花火大会実行委員会の事業に対する補助	効	実行委員会が、補助金を活用し、花火大会を開催する	◆ 補助1件	◎	津花火大会実行委員会と市が一体となって運営していくため、令和7年度予算から補助金から負担金の支出へと見直しを行った。物価高騰が続いているため花火の質を担保するには、補助の拡大だけでなく、多くの協賛金を集める手法についても事務局として考えていく。(来場者数180,000人)
	誰		市内外の人々	◇ 来場者数	◎		
	観光振興課		何	花火大会を通じて交流を深め、津市の魅力を感じていただき津市のことを好きになってもらう	10,000 (千円)	拡充・充実	
153-2	津まつり補助事業	津まつり実行委員会の事業に対する補助	効	実行委員会が補助金を活用し、津まつりを開催する	◆ 補助1件	◎	津まつり実行委員会と市が一体となって運営していくため、令和7年度予算から補助金から負担金の支出へと見直しを行った。同時に市が負担する金額を見直した。今後も津市を代表するイベントとして実施していく。(来場者数305,000人)
	誰		市内外の参加団体や来場いただく人々	◇ 来場者数	◎		
	観光振興課		何	津まつりを通じて交流を深め、津市の魅力を感じていただき津市のことを好きになってもらう	22,500 (千円)	拡充・充実	
153-3	ビーチバレーin御殿場補助事業	ビーチバレーin御殿場実行委員会の事業に対する補助	効	実行委員会が、補助金を活用し、ビーチバレー大会を開催する	◆ 補助1件	◎	津の海をPRするレジャーイベントとして、今後も補助を継続する。多くの来場者(3,000人)があるものの、参加者が減少しているため、増加に向けた施策を事務局として考えていく。
	誰		ビーチバレー大会参加者	◇ 来場者数	◎		
	観光振興課		何	大会を通じて親交を深め、津市の魅力を感じていただき津市のことを好きになってもらう	4,800 (千円)	現状維持	
153-4	経ヶ峰ハイキング事業	経ヶ峰ハイキング事業の実施	効	登山イベントを通じて、観光資源である経ヶ峰の周知	◆ 登山イベント1件	×	令和6年度は雨天により開催中止となった。年間1万人以上の登山客があり、経ヶ峰の周知という事業目標は達成できたと判断し、令和7年度以降は事業を廃止する。
	誰		登山愛好者及び地域住民	◇ 参加者数	×		
	地域振興課(安濃)		何	観光資源である経ヶ峰の周知を行い、登山客の増加を図る	292 (千円)	廃止	

施策の内容評価シート(令和6年度分)

153-5	「温泉と四季の花」ふれあいの里事業	とことめの里一志の南側水田を活用した景観整備業務の委託	効	景観整備をすることにより、地域活性化を図る	◆ コスモスイベントの開催	◎	前年度同様、多くの来場者(約500人/日)があったため、「○」とした。 今後も市民等に対し本事業を通して憩いと潤いを提供する必要があることから、「現状維持」とした。
	地域振興課(一志)		誰	「一志温泉やすらぎの湯」来館者及び市民	◇ 来場者数	○	
			何	景観作物の栽培やプランター花栽培により憩いと潤いの提供を図る	3,950 (千円)	現状維持	
153-6	久居花火大会補助事業	久居まつり実行委員会の事業に対する補助	効	実行委員会が継続的に花火大会を開催することができる	◆ 補助1件	◎	令和7年度からは市と一体となって運営していくため、補助金から負担金の見直しを行った。 物価高騰が続いているため花火の質を担保するには、補助の拡大だけでなく、多くの協賛金を集める手法についても事務局として考えていく。 (来場者数60,000人)
	地域振興課(久居)		誰	来場者	◇ 来場者数	◎	
			何	花火大会を通じて交流を深め、久居地域の魅力を感じていただき津市のことを好きになってもらう	10,000 (千円)	現状維持	
153-7	久居まつり補助事業	久居まつり実行委員会の事業に対する補助	効	実行委員会が継続的に久居まつりを開催することができる	◆ 補助1件	◎	令和7年度からは市と一体となって運営していくため、補助金から負担金の見直しを行った。ひさい版仮装大笑は、令和6年度をもって終了し、新たな企画を事務局として調整していく。 (春:グリーンフェスティバル 来場者数5,000人) (秋:久居まつり(本祭・ひさい版仮装大笑 来場者数5,500人)
	地域振興課(久居)		誰	市内外の参加団体や来場者	◇ 来場者数	◎	
			何	久居まつりを通じて交流を深め、久居地域の魅力を感じていただき津市のことを好きになってもらう	5,633 (千円)	現状維持	
153-8	榊原温泉ふれあいの郷	榊原温泉秋の収穫祭実行委員会の事業に対する補助	効	実行委員会が収穫祭を開催することができる	◆ 補助1件	◎	榊原温泉秋の収穫祭で、地域住民からの出品された農産物等の販売を通じて産業振興、観光振興、地域振興につなげることができる効果的な事業であり継続していく。 (来場者数2,500人)
	地域振興課(久居)		誰	津市内の参加団体や、市内外の来場者	◇ 来場者数	◎	
			何	秋の収穫祭を通じて交流を深め、榊原地域の魅力を感じて頂き、榊原地域を好きになってもらう	440 (千円)	現状維持	
153-9	花街道景観整備	花街道景観整備の事業に関する委託	効	一色町自治会が花街道景観整備事業を活用し、スイセン、アジサイ等を栽培する	◆ 委託1件	◎	令和7年度から市道は同じ基準で管理することとし、当該エリアについても、業者委託や市直営の管理によって行うこととし、草刈りの時期などについては、一色町の自治会と適宜相談を行いながら実施することとし、当該事業は廃止することとした。
	地域振興課(久居)		誰	榊原温泉への主要アクセス道路の利用者	◇ 通行者	◎	
			何	美しい景観づくり推進を図ると同時に、魅力ある景観を榊原温泉の利用者等に提供する	487 (千円)	廃止	
153-10	花ハスによる活性化事業	二俣区美化推進委員会の花ハス活性化事業に対する補助	効	委員会が、補助金を活用し、花ハスの保全・清掃活動を行い観光スポットの花ハスの景観を維持する	◆ 地域の観光スポット(花ハスの棚田)の景観を維持する活動への支援	◎	観光客の増加を目的として、白山地域の観光資源の花ハスの棚田を守り、ハス田の一般公開期間(7月と8月)に市内外から観光客を誘致できた。(来訪者数 約3,000人) 今後については、委員会からハス田の管理・運営が高齢化により維持できないとの申し出があったことから廃止。
	地域振興課(白山)		誰	市内外の人々	◇ 来訪者数(3,000人)	◎	
			何	花ハスの景観を通じて市内外の交流を深め、白山地域の魅力を感じていただき津市へ来訪いただく	77 (千円)	廃止	

施策の内容評価シート(令和6年度分)

153-11	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
153-12	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
153-13	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
153-14	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)
 ※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
 ※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	③
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
 ※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	E	E	A	A	A			
今後の方向性	①	①	①	①	①	①	③			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。